担当：橋本摂子 hashimoto.s.ac@m.titech.ac.jp

カテゴリカル・データの分析：ロジスティック回帰と平均値の比較

1. ロジスティック回帰分析
   ① 従属変数と回帰式
   ② stata の計算：logistic
   ③ 出力の読み方
   ④ 予測値と解釈
2. 平均値の比較
   ① 平均値比較の考え方
   ② T 検定：ttest、一元配置：oneway
   ③ stata の計算
   ④ 出力の読み方

【演習課題】

a) JGSS2005 を用いて、インターネット利用の有無について、性別・年齢・学歴・就業形態・世帯収入・TV 視聴時間を用いてロジスティック回帰分析を実行せよ
b) JGSS2005 を用いて、就業形態ごとの TV 視聴時間の平均値の比較を、男女別に実行せよ

【補足事項】今後のスケジュールを以下に変更

第 12 回（7/3）　ロジスティック回帰分析・分散分析
第 13 回（7/10）　演習・質問受付（※分析レポート〆切　15:00　W9-514 号室）
第 14 回（7/17）　優秀者によるプレゼンテーション・講評

※ 7 月 10 日に報告者 4～5 名を選定。その後TAと連絡を取り合って報告準備を進めてもらう。レポートには連絡先アドレスを記載すること。
※ 合格基準に達しない者がいた場合、10 日にメール連絡する。再提出〆切は 17 日。